



ご挨拶

新型コロナウイルスの感染が収まりません。緊急事態宣言も今月末まで延期となり、変異種が登場したりと、相変わらず不穏な影を落としています。新温泉町でも65歳以上の高齢者のワクチン接種がようやく開始されるようです。コロナ渦で大きな影響を被った方もいるでしょう。しかし、田舎の山間の村では行事が中止になったり、都会に出ている子どもが帰省できない寂しさはありますが、大きな変化は無いように思えます。こんな時、田舎に住んでいて良かったと実感しています。

【山田に稲が植われました】

風薫る5月となり、野山の新緑もいっそう濃くなってきました。先月から荒耕し、代掻きと田植えの準備が進められてきた山の田んぼに、いよいよ稲の苗が植えられました。この写真は、池ヶ平の安泰寺の田んぼです。機械植えが主流の昨今ですが、修行僧が総出で手植えをされたそうです。綺麗に直線で植えられた苗と新緑の山、ここに田舎の原風景があります。



綺麗に直線で植わった苗と水面に新緑の山が映える。

【安泰寺にお邪魔しました「春の遠足～地域探訪～」】

5月度の久斗山地区公民館行事「春の遠足～地域探訪～」が16日（日）に開催されました。参加は13名(大人6、子ども7)でした。午前9時に集合、受付を済ました後、町道ツツライ線の林道分岐まで車で移動し、そこから安泰寺まで片道約1.5kmを歩きました。受付の時から雨が降りだし、行く道中はずっと雨でした。でも、沢ぞいでタゴガエルの鳴き声を聴き、オトシブミの手紙を拾ったり、オニグルミの花やキアシドクガの幼虫（毛虫）を観察したりと、色々道草をしながら歩きました。11時前に安泰寺に到着



タゴガエル



中村住職と修行僧の皆さんが出迎えてくれました。居間で休憩した後に住職さんのご案内で本堂や図書室、宿坊などを見せていただき、座禅や修行のこと、お寺の生活についてお話を聞きました。お米や野菜を作り、自給自足の生活をして最低でも3年間は修行しなければならないそうです。お昼に本格的なピザをご馳走になりました。外に出ると雨も止んでおり、下りの帰り道は足取りも軽く、1時間ほどで車の所に着きました。ヤマビルに血を吸われたりしましたが、楽しい春の遠足でした。安泰寺の皆さん、ありがとうございました。



【谷岡さんが今年の田植え1番！】

これまでゴールデンウィーク明けでないと配布されなかったJAの水稲苗ですが、今年は5月1日から配布されました。地区内で第1号に田植えをされたのは、境の谷岡正明さんのところ
です。1日の朝、午前8時半にはすでに県道沿いの田んぼ半分
以上が植えられて
いました。

今年の連休は、
天候が不安定でし
たが、多くの家が
田植えをしました。



【今年の梅雨入りは記録的に早い！】

16日、近畿地方が梅雨入りしたと気象庁の発表がありました。平年より21日も早く、なんと統計開始以来最も早い梅雨入りだそうです。今年
は春から天候が不安定で、気温の
高低差も大きく、季節の進み方
が異常に早いように思います。
洪水など、大きな災害が発生
しないかと不安に思います。
梅雨入りが早いぶん、明ける
のが早まると、次は夏の猛暑が
心配です。今から、熱中症に気をつけましょう。



ダイセン
ニシキマイマイ

【シカ対策OK！花とみどりの里づくり】

22日（土）の朝、久斗山すこやかクラブの皆さん
総出で、集会所前のプラン
ターに色とりどりのお花を
植えました。夜になると鹿
が食べに出て来るので、その対策に網を上にかかけました。



【県道257号線、24時間通行規制中】

現在、県道257号線（山田新温泉線）の境、出合の上のカーブから
約120m区間で法面の補修工事が行わ
れています(水田建設(株))。古い吹付を
剥がして新しくするもので、しばらく
24時間の通行規制が続きます。警備員
が居ますが、通行は注意してください。



○令和3年 6月の行事

- 5日（土） 「霧ヶ滝溪谷トレッキング」 (9:00~15:00 上山高原コミュニティアム)
- 17日（木） 「扇ノ山新緑登山（平日版）」 (9:00~15:00 上山高原コミュニティアム)
- 19日（土） 久斗山自然教室「夜のホタルとカエル観察会」(18:30~21:00久斗山公民館)
- 27日（日） 「シワガラの滝トレッキング」 (9:00~15:00 上山高原コミュニティアム)



**兎野高原 木の殿堂
森のニッチな生き物写真展**

夜行性のクモや、特に珍しいナゲナワグモの仲間
の特異な生態を写真で紹介します。

○期間: 令和3年6月19日（土）～
7月18日（日）

10:00～16:30 ※月曜日は休館

○場所: 木の殿堂 展示スペース

- ・入館料: 無料
- ・ウイルス対策: 手洗い、消毒、マスクの着用
をお願いします。発熱、体調不良のある方と同伴者
は入館をお断りする場合があります。

【問い合わせ先】
兵庫県 木の殿堂

TEL: 0796-96-1388 FAX: 0796-96-1930
メール: kinodendo@gmail.com



白いゆうれいのような姿

今月の野草

ギンリョウソウ

大杉神社の落葉の中から数本出
ているのを見つけました。当地から
は初めての発見です。十数センチの
茎を伸ばし、その先に下向きに球形
の目玉のようなもの、これが花です。
やや透けた白い姿から、別名ユウ
レイタケとも呼ばれており、葉緑素
を持ちません。落葉の中のキノコの
菌糸体に寄生し、そこから栄養をも
らって育つ不思議な植物です。

**かってに昔話
あかなめの滝(第二話)**

作、いつこう

山の民は何世代も狩猟生活を
し、質素な暮らしにそれなりに満
足していました。ところが、新し
い世代の若者の中には、質素な暮
らしに疑問を持つものも出てき
ました。

このあたりでは、年に一度、山
の神の祭りがあります。境村の神
社に奉られた山の神に、一年の狩
りの安全と豊かな恵みを祈願す
るため、近隣の山々の民がお参り
するのです。獲物や山の幸を奉納
し、その後は山葡萄などの果を発
酵させて作った果実酒をみんなが
飲み交わしながら、楽しい宴が
開かれます。

ある年の祭りで、若者の集う席
でひとときわ意気込んで話をする
トキという男がいました。
「この前、海辺の村から菓とか
塩を物々交換にくる親父から聞
いたんだけど、時々、入江に来る
大きな船になめした皮や角を
持って行けば、さらさらとした綺
麗な布で作った服や良く切れる
小刀とか、それに今まで食ったこ
とのない甘くて旨い菓子という
物に交換してくれるらしい。わし
はもうこんなぼろ着たくないし、
切れる小刀や、甘い菓子というも
んを食ってみたい。
それでな、わしはいつも歩き
回っておる山や谷のことを考え
ていて、はっと閃いたんだ。いっ
ぺんにようけの鹿を捕らえるえ
え方法を……」
そうやって、トキは地面に木の
棒で簡単な図を描きました。山と
山、その間に谷があり、そこに滝
があります。トキが多く獲物を
狩る方法とは地の利をうまく使
い、山々から鹿を追い込み、いっ
ぺんに滝に落とし込んで狩ると
いうものでした。(つづく)